

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月9日

協議会名: 加賀市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
北鉄加賀バス株式会社	系統名:温泉山中A 運行区間:加賀温泉駅～河南～山中温泉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸新幹線開業での観光客増加に対応したダイヤ設定及び地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ変更を実施。時刻表全戸配布の継続</li> <li>・利便性の向上(キャッシュレス決済、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図った。</li> <li>・北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の普及を図った。</li> </ul>	A 計画どおり実施された。	B 県内路線バス利用者数の維持 (R5.10～R6.9)69,296人→ (R6.10～R7.9)66,382人  ※減少理由 関西、東海方面からの観光客が伸び悩んだため。	観光客向けには北陸新幹線を、地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ編成及び見直しを図る。また、利便性の向上(キャッシュレス決済推進、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図る。
北鉄加賀バス株式会社	系統名:温泉山中H 運行区間:加賀温泉駅～河南～栢野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸新幹線開業での観光客増加に対応したダイヤ設定及び地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ変更を実施。時刻表全戸配布の継続</li> <li>・利便性の向上(キャッシュレス決済、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図った。</li> <li>・北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の普及を図った。</li> </ul>	A 計画どおり実施された。	B 県内路線バス利用者数の維持 (R5.10～R6.9)77,489人→ (R6.10～R7.9)71,592人  ※減少理由 関西、東海方面からの観光客が伸び悩んだため。	観光客向けには北陸新幹線を、地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ編成及び見直しを図る。また、利便性の向上(キャッシュレス決済推進、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図る。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月 9日

協議会名:加賀市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
日本海観光バス株式会社	系統名 キャンバス小松空港線 運行区間 加賀温泉駅～片山津温泉～空港	5系統から3系統に変更したことにより、同路線を3便から5便に増加して、利便性を向上した。	A	事業が計画的に位置づけられた通り、適切に実行された。	B 1便あたりの目標が8人のところ、結果2.87人。目標は下回ったが、増便の効果が一定であったものとする。(昨年:2.79人)	小松空港発着の航空機時刻と連絡できるように、ダイヤを組み替えて利便性を向上する。
日本海観光バス株式会社	系統名 キャンバス海まわり線 運行区間 加賀温泉駅～橋立漁港～加賀温泉駅	5系統から3系統に変更したことにより、同路線は6便から5便に減便となった。	A	事業が計画的に位置づけられた通り、適切に実行された。	A 1便あたりの目標が5人のところ、結果5.19人。減便の影響も懸念したが、影響はなかった。(昨年5.07人)	現況、1日5便の運行ではあるが、できるだけ2時間に1便の間隔で利用者に便宜を図りたい。
北鉄加賀バス株式会社	系統名:温泉片山津線H 運行区間:加賀温泉駅～石川病院～加賀温泉駅	・北陸新幹線開業での観光客増加に対応したダイヤ設定及び地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ変更を実施。時刻表全戸配布の継続 ・利便性の向上(キャッシュレス決済、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図った。 ・北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の普及を図った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 県内路線バス利用者数の維持 (R5.10～R6.9)37,702人→ (R6.10～R7.9)33,011人 ※1便あたりの目標が12人のところ、9人  関西、中京圏からの観光客数が減少したことは、要因の一つと考えられる。	観光客向けには北陸新幹線を、地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ編成及び見直しを図る。また、利便性の向上(キャッシュレス決済推進、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図る。
北鉄加賀バス株式会社	系統名:山代大聖寺線C 運行区間:山代温泉東口～上河崎～大聖寺駅前	・北陸新幹線開業での観光客増加に対応したダイヤ設定及び地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ変更を実施。時刻表全戸配布の継続 ・利便性の向上(キャッシュレス決済、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図った。 ・北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の普及を図った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 県内路線バス利用者数の維持 (R5.10～R6.9)4,271人→ (R6.10～R7.9)3,850人 ※1便あたりの目標が8人のところ、10.6人	観光客向けには北陸新幹線を、地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ編成及び見直しを図る。また、利便性の向上(キャッシュレス決済推進、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図る。
北鉄加賀バス株式会社	系統名:温泉大聖寺線A 運行区間:加賀温泉駅～大聖寺駅前～かが交流プラザさくら	・北陸新幹線開業での観光客増加に対応したダイヤ設定及び地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ変更を実施。時刻表全戸配布の継続 ・利便性の向上(キャッシュレス決済、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図った。 ・北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の普及を図った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 県内路線バス利用者数の維持 (R5.10～R6.9)10,869人→ (R6.10～R7.9)8,046人 ※1便あたりの目標が5人のところ、5.7人	観光客向けには北陸新幹線を、地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ編成及び見直しを図る。また、利便性の向上(キャッシュレス決済推進、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図る。
北鉄加賀バス株式会社	系統名:吉崎線 運行区間:加賀温泉駅～大聖寺駅前～塩屋	・北陸新幹線開業での観光客増加に対応したダイヤ設定及び地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ変更を実施。時刻表全戸配布の継続 ・利便性の向上(キャッシュレス決済、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図った。 ・北陸鉄道ICカード乗車券「ICa」、クレジットカード等によるキャッシュレス乗車の普及を図った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 県内路線バス利用者数の維持 (R5.10～R6.9)28,240人→ (R6.10～R7.9)28,548人 ※1便あたりの目標が11人のところ、15.1人	観光客向けには北陸新幹線を、地元利用者向けにはIRいしかわ鉄道の接続等を考慮したダイヤ編成及び見直しを図る。また、利便性の向上(キャッシュレス決済推進、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図る。